

幡多の太陽

令和2年2月17日 第20号

火災避難訓練

これも命を守る訓練です

2月4日(火)、清水消防署から3名の消防署員の方に来ていただき、火災避難訓練をしました。理科・家庭科室から出火したと想定し、消防署への連絡訓練、火災からの避難訓練、5・6年生による消火器を使用しての消火訓練、そして、煙体験をしました。避難時には、火災避難訓練の標語「お・は・し・も」がしっかりとできていました。消防署員の方にもほめられました。ちなみに、「お・は・し・も」とは、『「お」・・・押さない 「は」・・・走らない 「し」・・・しゃべらない 「も」・・・もどらない』です。

12月の中旬に沖縄本島近海を震源とする地震と青森県東方沖を震源とする地震が2日続けて発生した際、学校内に設置されている地震津波警報器が作動し、「・・・大きな揺れ、津波に備えてください。」とアナウンスが流れました。すぐに教室にいる児童の様子を見に行くと、全員が「サル」のポーズで揺れに備えていました。沖縄の地震の際には、九州地方ということもあり、津波に備えてすぐに逃げられるよう校庭に児童を集めました。訓練ではありません、実践です。みんなが真剣に、これまで学習してきたことを守り、行動がとれました。幸い、揺れも津波もありませんでしたが、実践的防災教育に取り組んできた成果だとその時、思いました。避難は空振りに終わりましたが、誰一人文句を言ったりする児童はいませんでした。素晴らしいことです。

消防署員の方が次のようにお話をされていました。「地震や津波は自然災害だから防ぎようがない。でも、火事は人災だから防ぐことができます。」災害から命を守るための訓練です。本当は、このようなことが起きないことが一番なのですが、もしも起きた際には、自分の判断で行動できる、そんな力を身につけてほしいものです。そして、火事を起こさないように、一人ひとりが生活の中で気を付けることがとても大切です。



消火器の使い方を習いました。二人で協力してニセの「火」を消しました。



煙は上に登ります。視界が良くなるように、また、煙を吸わないように、身をかがめ、口鼻を防ぎます。

こぐま座による人形劇

読書祭り



人形劇「こぶとりじいさん」 子どもたちも見入っていました。ユーモラスな人形の表情や動きがあり、時々子どもたちにも笑みがこぼれていました。こぐま座さん、ありがとうございました。



図書委員さんがクイズを出してくれました。仲良し班対抗でやりました。3班、4班、5班が正解6問で優勝でした。図書委員さんが、「3びきのこぶた」の読み聞かせもしてくれました。図書委員さん、ご苦労様でした。楽しい読書祭りでした。

時季的にはかなり遅くなってしまったのですが、2月6日、人形劇でボランティア活動をしているこぐま座さんに来ていただき、音楽室で読書祭りをしました。図書委員さんが大活躍しました。とても楽しい読書祭りになりました。これからたくさんの本を読み、知識だけでなく、心や感性も育ててほしいものです。

こんな子がいたよ

火災避難訓練では上履きのまま校庭に避難します。教室に戻る際は、玄関などの洗い場で上履きの底を洗い、玄関に用意されているタオルで上履きの底をふいて上がるようにしています。当然、ふいた後は、タオルはぐちゃぐちゃになりがちで、この時も、4枚のうち1枚がぐちゃぐちゃになっていました。それに気づいた5年の綾花ちゃんがさっと直しているのを偶然見かけました。こんなことが自然にできるって素晴らしいですね。わたしはとってもいい気分になりました。

危機管理課の方からほめていただきました!!

「清水じゅうの学校に備蓄品を運びましたが、子どもが備蓄品を運び込むのを手伝ってくれた学校は他にありませんでした。ありがとうございました。」

これは、2月4日午後、避難所となっている本校に毛布や飲料水などを運び込む作業をしにやってきていた土佐清水市危機管理課の職員の方の一言です。だれかに言われてした行動ではありません。休み時間だったにもかかわらず、自分たちで考え、「手伝い」という行動をとったのです。素晴らしいですよ。そして、何よりも、このように言っただけなのがうれしいですよ。

